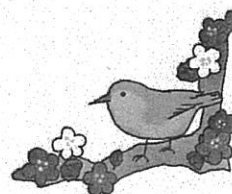


小島地区ふれあいセンターだより



令和8年1月 第427号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



1月の行事予定

※毎週月曜日及び1月1日（木）～3日（土）は休所日です。

開催日	行事名	
6日（火）	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時～11時
7日（水）	すこやか運動教室（生涯元気事業）	午前10時～12時
12日（金）	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時～11時
21日（水）	すこやか運動教室（生涯元気事業）	午前10時～12時
24日（土）	小島地区連合自治会連絡会議	

新年のごあいさつ

小島地区ふれあいセンター運営委員会

会長 金子 三智郎

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、有難うございました。小島地区ふれあいセンター運営委員会で会長を勤めております金子でございます。就任8年目となりました。今年も運営委員会、学習グループ、所長をはじめスタッフ一同、宜しくお願いいたします。

昨年はサッカーファンにとって念願であった、Vファーレン長崎がJ1昇格を決め、スタジアムシティー開園1周年に花を添えました。

さて、今年は「丙午」（ひのえ・うま）の年、「情熱や変化を象徴する」年と云われます。「丙」が陽の火「午」も陽の火、千支とも火の性質を持つ年です。

「夏のピークの太陽」のようなムードを持つと表現されます。

この年生まれの人は、自分の考えを大切にし行動力がある⇒リーダーシップを発揮することが得意である。情熱が強く周囲に力強い印象を与え、主張が目立ちすぎると感じられることがあります。

「丙午にまつわる迷信」江戸時代、丙午生まれの女性は気が激しく夫の命を縮めるとの迷信がありました。これは「八百屋お七」が丙午生まれとされたことに由来しています。

1966年には丙午迷信により出生率が大きく落ち込みました。（25%ダウン）。

但し今回は大規模な出生率の減少は起こらないとされています。社会の変化・女性の社会進出が進んだこと・メディアが迷信を払拭する役割を果たすなどが要因です。

今年が皆様に取りまして最良の年となりますように祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

諏訪神社近隣③

○天台宗松嶽山安禪寺跡
安禪寺は正保2年(1645)僧・玄澄が庵を建てたのが始まりで、承応元年(1652)東叡山寛永寺の末寺となりました。天和元年(1681)東叡山より厳有院(徳川家綱の位牌を賜ったのを機に、歴代將軍の位牌を安置する事となりましたが、明治維新により廃寺。葵の紋を刻んだ石門、文政2年(1819)建立がその名残となっています。

○東照宮神社

東照宮は徳川家康を祀った神社で日光東照宮が本宮となります。現在、御宮・御霊屋等が東照宮神社として諏訪神社の境台末社となっています。

○長崎甚左衛門純景像

鎌倉時代の貞応年間(1222頃)長崎小太郎重綱という御家人が長崎に来て、現在の桜馬場中学校の場所に屋敷を構え長崎村を治め始めます。その十四代目が長崎開港時、元龜元年(1570)の領主・長崎甚左衛門純景です。純景は大村純忠より妻(純忠の娘)をもらい、大村氏と協力関係にありました。

○ピエール・ロチ記念碑 昭和25年建立

ピエール・ロチ(1850-1923)はフランス出身、小説家・軍人でした。

明治18年(1885)長崎での「おかねさん」との約3ヶ月間の生活を基にした作品マダム・クリザンテーム(お菊さん)を発表。代表作

○長崎公園の噴水

明治6年(1873)、長崎で最も古い公園。日本初の噴水を復元。

○月見茶屋(春江茶屋跡)

創業明治18年(1885)、約140年の歴史。※港を一望し呑み込むような景勝地。「彦山の上から出る 月はよか こげん月は えつとなかばい」大田蜀山人

「秋の歴史探訪」講座について

十一月二十二日(土)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座「秋の歴史探訪」を開催しました。

ガイドには、今回もテレビ等でお馴染みの山口広助さんをお迎えしました。

当日は、晴天に恵まれ、参加者三十四名及びスタッフは、崇福寺電停に集合して、小島川めぐりをしました。

参加者の皆さんは、小島川、銅座川、中島川の成り立ちや歴史についてガイドの分かりやすい説明を興味深く聞きながら、和気藹々(わきあいあい)と午後のひとときを楽しく過ごされました。



「小倉百人一首」を読み解く 竹方其

十六番歌(中納言行平)

ちゅうなごんゆきひら
たち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む

【語訳】

あなたとお別れして、因幡の国守となり赴任して行く私ですが、因幡の稲羽山の峰に生えている松の木のように私の帰りを待つと聞いたなら、直ぐに都に戻ってまいりましょう。

【留意点】

・この歌は行平が7歳のとき因幡の国守として遠方に赴任する際に見送りに来てくれた人へ贈った歌。在原行平ではなく、あえて「中納言行平」、つまり官人として、この別れの歌を詠んだ。「たち別れ」これまでの人間関係を「断ち」、そして「別れて」「任地へ」「往く」、そこには明確な意思が込められている。新たな任地で「峰に生える松」、松は痩せた土地でも風雪に耐えて立派に成育する。何があっても任地の因幡の国で「骨を埋める覚悟」という決意が「松」に込められている。この移動は派閥争いか定期異動かわからないが、自分も再び都にもどり能力を発揮したいという二つの思いが込められた歌である。職業人はこのように生きるべきという強い覚悟を示した歌である。



☆こしまおはなしランド&クリスマス会☆

十二月七日(日)に、小島中学校区青少年育成協議会と小島地区ふれあいセンターの共催で、恒例の「こしまおはなしランド&クリスマス会」が開催されました。

小島中学校の生徒、小島小学校や愛宕小学校の児童、地域の園児や大人、約百五十名が参加されました。

田上おはなし会の皆さんによる絵本の読み聞かせやおしぼい、小島中学校の吹奏楽部の演奏、長崎大学お笑いサークルによる漫才、マジックショーなどがあり、最後にサンタクロースが登場して、プレゼントが配られ、子供達は楽しい時間を過ごしました。





〈新着図書のご案内〉

	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般 図 書	一膳めし屋丸九	中島 久江	角川春樹事務所
	文豪ナビ池波正太郎	新潮文庫／編	新潮社
	風俗江戸東京物語	岡本 綺堂	河出書房新社
	父と子と	長谷川 卓	祥伝社
	椿平九郎留守居秘録 9	早見 俊	二見書房
	料理番春の絆	小早川 涼	KADOKAWA
	くらやみ坂の料理番	小早川 涼	KADOKAWA
	料理番忘れ草	小早川 涼	KADOKAWA
	料理番子守り唄	小早川 涼	KADOKAWA
	料理番に夏疾風	小早川 涼	KADOKAWA
	料理番名乗りの雪	小早川 涼	KADOKAWA
	月夜の料理番	小早川 涼	KADOKAWA
	私雨	長谷川 卓	祥伝社
	わかれ道	小杉 健治	祥伝社
	二十四節気スパイスカレー	ヤミー	KADOKAWA
	ダークネス	桐野 夏生	新潮社
	図解眠れなくなるほど面白い数異抄	山口 謠司	日本文芸社
	感動する図形問題	まさし	KADOKAWA
	あなたの名	小池 水音	新潮社
	バンクハザードにようこそ	中山 七里	KADOKAWA
児 童 図 書	花事典 800	宇田川 佳子	日東書院本社
	手習い師匠	岡本 さとる	祥伝社
	将軍の首	佐々木 裕一	二見書房
	暁の火花	佐々木 裕一	二見書房
	警視庁地下割烹	田中 啓文	KADOKAWA
	ひぐま	あべ 弘士	ブロンズ新社
	おいしそうなおつきみ	平田 昌広	鈴木出版
	アイとムリ	デイヴ・エガーズ	小学館
	あおいことり	たての ひろし	世界文化社
	ミッケ! 9	ウォルター・ウィック	小学館